

# 10月着任！地域おこし協力隊

## 有害鳥獣の捕獲やジビエの販売、いつかは体験ツアーを！

シカやイノシシの捕獲や利活用などを行う「地域おこし協力隊」として委嘱を受けた讚井さん。  
10月から活動を始めています(任期は最長3年間)。 ☎ 農林資源室 ☎ 63-7625



獣害で困っている人たちのために活動していきます！

地域おこし協力隊 狩猟再興請負人

大阪出身 **讚井 公隆** さん

### Q. どうして地域おこし協力隊に？

— **A.** いつか狩猟を生活の一部にしたいと思っていました。

狩猟に興味を持ったきっかけは、大学時代に研究室の先生に解体の現場へ連れて行ってもらったことでした。生き物に向き合うということと、猟友会の人たちの「チームで活動している空間」に魅力を感じ、趣味の一環として狩猟をしてみたいと思うようになりました。建築業界に就職したのですが、狩猟への憧れは持ち続けていました。

そんな中で宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会の狩猟者育成プログラムに参加し、狩猟を生業にする人たちの「高齢化で担い手不足となった狩猟業界を何とか盛り上げていきたい」という熱い想いに胸を打たれ、自分も狩猟を生活の一部にしたいと思っていたところ、名張市が地域おこし協力隊を募集していることを知りました。

### Q. 名張でやりたいことは？

— **A.** ジビエの販売や、山の動物を知る体験ツアーをしたい。

地域おこし協力隊の任期が終わる3年後に向けて有害鳥獣の捕獲や解体の技術を学び、いずれはジビエを販売する店を開きたいです。皮や角の小物を売るのも面白そう。捕獲した後の処理に困って、何十キロもあるものを地面に埋めるため苦労しているという話を聞いたので、捕獲後の引き取りなどでもお役に立ちたいですね。

ゆくゆくは、グランピングのように気軽に遊びに行けるような、山の動物を知る体験ツアーも

してみたい。僕が狩猟者育成プログラムに参加して面白いと思ったのが、「見えなかったものが見えるようになる」体験でした。例えば、「動物がどこを通ったか分かる？」と山で聞かれても、分からないですよね。でも足跡や痕跡について教えてもらおうと、確かに見えてくる。そんな体験をしてもらったら、楽しんでもらえると思うんです。解体の見学やジビエの試食もできるようなツアーにしたいですね。



本格的な活動に向けて狩猟や解体の技術を学んでいます！

素案を公表

パブリックコメント

意見を募集

## 12月18日月まで、素案への意見を募集しています

件名「〇〇計画(素案)に関する意見」、住所、氏名、電話番号、素案のどの部分についての意見なのかを明記し、電子メール、ファクス、郵便(〒518-0492 鴻之台1-1)、直接持参でご提出ください。

計画(素案)は市HPで

市役所1階案内、各担当窓口、市役所2階広報シティプロモーション推進室、図書館、各市民センターでもご覧いただけます。



### 名張市高齢者保健福祉計画(第9次改訂) 介護保険事業計画(第8次改訂) **素案**

高齢者の保健福祉に関する施策や介護などの政策を総合的に推進するため、高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画を一体的に策定します。

基本理念

まちじゅう つながる ささえあう  
~いつまでも、いきいきと、自分らしく暮らせる  
地域共生社会の実現を目指して~

基本目標

- 介護予防・重度化防止の推進
- 認知症施策の推進
- 在宅医療の充実と在宅医療・介護連携の推進
- 住み慣れた地域で生活するための安心・安全の確保
- 介護保険制度の円滑な運営

☎ 介護・高齢支援室 ☎ 63-7599 ☎ 63-4629  
✉ kaigo@city.nabari.lg.jp

### 第六次名張市障害者福祉計画 **素案**

障害福祉の推進に関わる計画です。障害のある人もない人も共に安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指します。

基本理念

ライフステージの全ての段階における全人間的復権と、障害のある人もない人も同じ地域社会でともに暮らし、学び、働く「インクルーシブ社会」を目指す。

重点施策

- 障害特性やライフステージに応じた、継続的・包括的な支援の推進
- 共生意識にあふれた地域社会の構築
- 障害のある人の自立を支援する就労支援の充実

☎ 障害福祉室 ☎ 63-7591 ☎ 63-4629  
✉ shogai@city.nabari.lg.jp